

## 哲学思想基本研究 I (その 4)

2 units 3rd-year(2nd semester)

Hiroyuki Yamaguchi · ASSOCIATE PROFESSOR / DEPARTMENT OF HUMAN SCIENCES

**Target)** 我々が何かもの考えるときには、さまざまな知識を前提として考えを組み立てる。そうした、「思考の前提」となっているものについて思考することはきわめて困難である。しかしながら「哲学」の仕事とは、そうした「思考の前提」を問い直し、明るみに出そうとするものであるべきだと私は思う。ミシェル・フーコー『言葉と物』を読んで、思考の前提となるべきものの構築過程を知る。

**Outline)** フーコー『言葉と物』研究。毎回、担当者を決め、担当箇所の概要、議論すべき論点、疑問点などを発表してもらう。発表をもとに参加者で議論を行う。おおよそ2, 3週間に一章のペースで進める。

**Keyword)** 科学と哲学, *philosophy*

**Fundamental Lecture)** “哲学思想基本研究 I (その 1)”(0.9)

**Notice)** たくさん本を読むこと。毎回の授業で、関連する文献を紹介します。また、研究書の巻末には参考文献が掲載されています。それら入手し、読み、報告すること。一ヶ月にどんなに少なくとも1冊、できれば週に1冊のペースで読むこと。

**Goal)**

1. 科学史・科学哲学に対する基礎的な知識を身につける。
2. 自ら哲学的に思考する技術を身に付ける。

**Schedule)**

1. イントロダクション:授業の説明など
2. 第6章交換すること(1)
3. 第6章交換すること(2)
4. 第6章交換すること(3)
5. 第7章表象の限界(1)
6. 第7章表象の限界(2)
7. 第7章表象の限界(3)
8. 第8章労働, 生命, 言語(1)
9. 第8章労働, 生命, 言語(2)
10. 第9章人間とその分身(1)
11. 第9章人間とその分身(2)
12. 第9章人間とその分身(3)
13. 第10章人文諸科学(1)
14. 第10章人文諸科学(2)

15. まとめ

**Evaluation Criteria)** 担当を分担して報告すること, 3分の1以上の欠席をしないことが必要条件。報告の内容や発表の様子, 議論への参加, 学期末のレポートで総合的に成績評価する。

**Re-evaluation)** なし。

**Textbook)** ミシェル・フーコー『言葉と物』新潮社

**Contents)** <http://cms.db.tokushima-u.ac.jp/cgi-bin/toURL?EID=218880>

**Contact)**

⇒ Yamaguchi (共通教育4号館404(11年3月まで), +81-88-656-7615, yamaguti@ias.tokushima-u.ac.jp) MAIL (Office Hour: 火曜10:30-11:30)